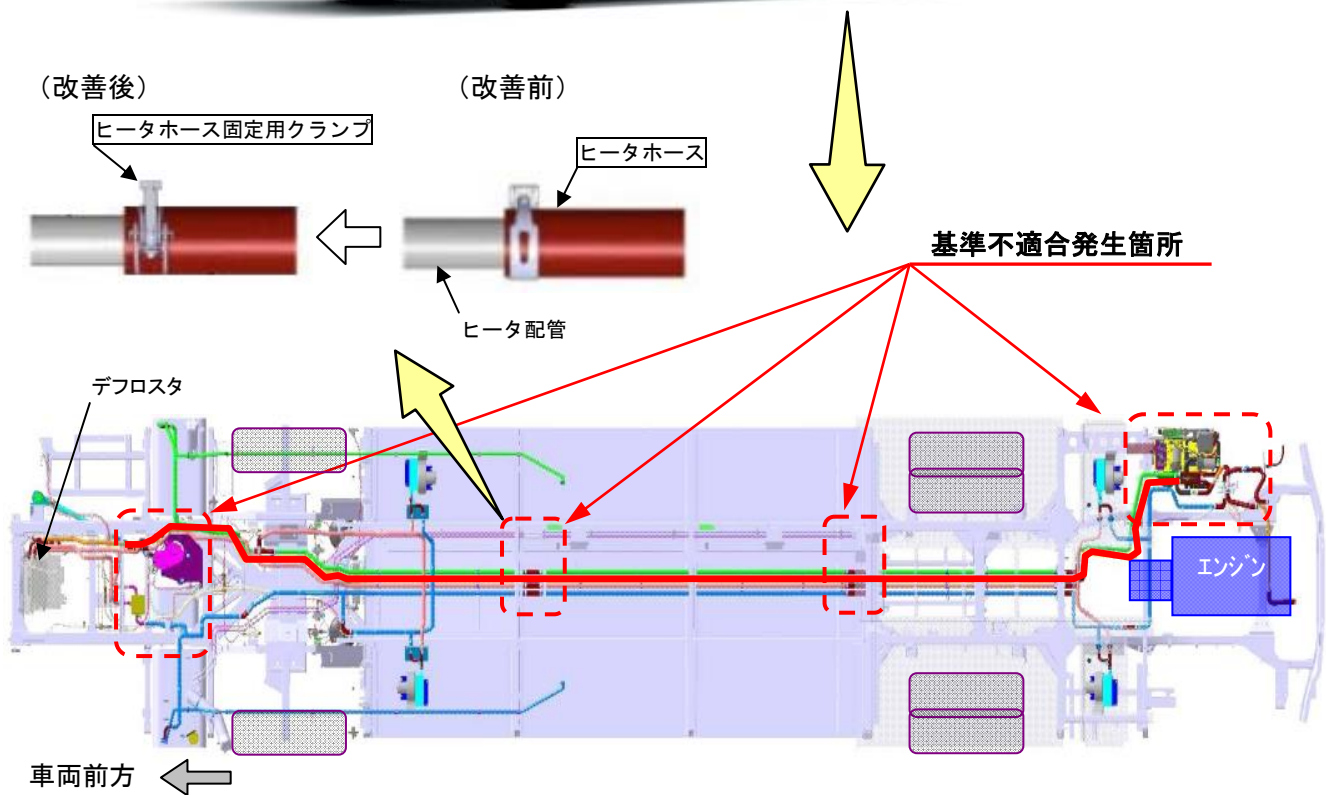


## 改善箇所説明図



大型バスにおいて、ヒータホース固定用クランプの締結力が不足しているため、ヒータホースの内部を流れる冷却水がホース端部より浸入し、その冷却水によってホースの補強糸が分解されるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースの強度が不足し、内部を流れる冷却水の圧力に耐えきれず、ホースが破損して冷却水が漏れ、デフロスタの機能が低下して前面ガラス直前の視野を確保できないおそれがある。

### 改善措置の内容

全車両、ヒータホース固定用クランプの締結力が不足している箇所のヒータホースと固定用クランプを対策品に交換する。

注：  は交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB139」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける